阿南町社会福祉協議会
まめだかな？
第113号
長野県下伊那郡阿南町西條709 「おげんきサルビアの郷」内
TEL(0260)22－3151

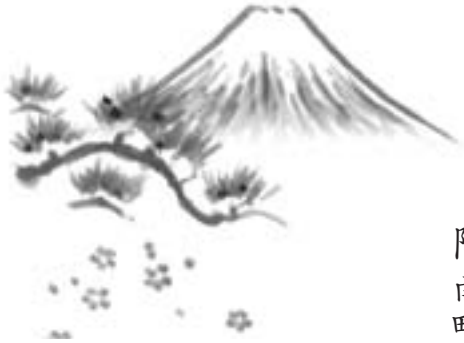
謹賀新年

昨年中は阿南町社会福祉協議会の事業に一方ならぬご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで、新年を迎えることができました。

本年は四月に消費税率引き上げなど厳しい情勢ではありますが、地域の皆様のご協力ご鞭撻を賜りながら役職員一同、頑張ってまいりたいと存じます。よろしくお願い致します。

最後になりましたが、平成二十六年が皆様にとって充実した一年でありますようお祈り申し上げ、新年の挨拶にかえさせていただきます。

阿南町社会福祉協議会 役職員一同



ごあいさつ

阿南町社会福祉協議会
会長 松下 俊一

明けましておめでとうございます。

昨年中、当協議会に寄せられました温かいご理解、ご協力にお礼申し上げます。

おかげさまをもちまして、福祉関連の事業も年々充実しつつあり、特に地域福祉を目指す中で、ご高齢の皆さまの要望にお応えすることに重きを置いた事業を展開してまいりました。

本年は、なお一層、地域の皆さま方とのふれあいを大事に考え、町民の皆さまに愛され、信頼される社協を目指し、役職員一丸となって、努力して参る所存でございます。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

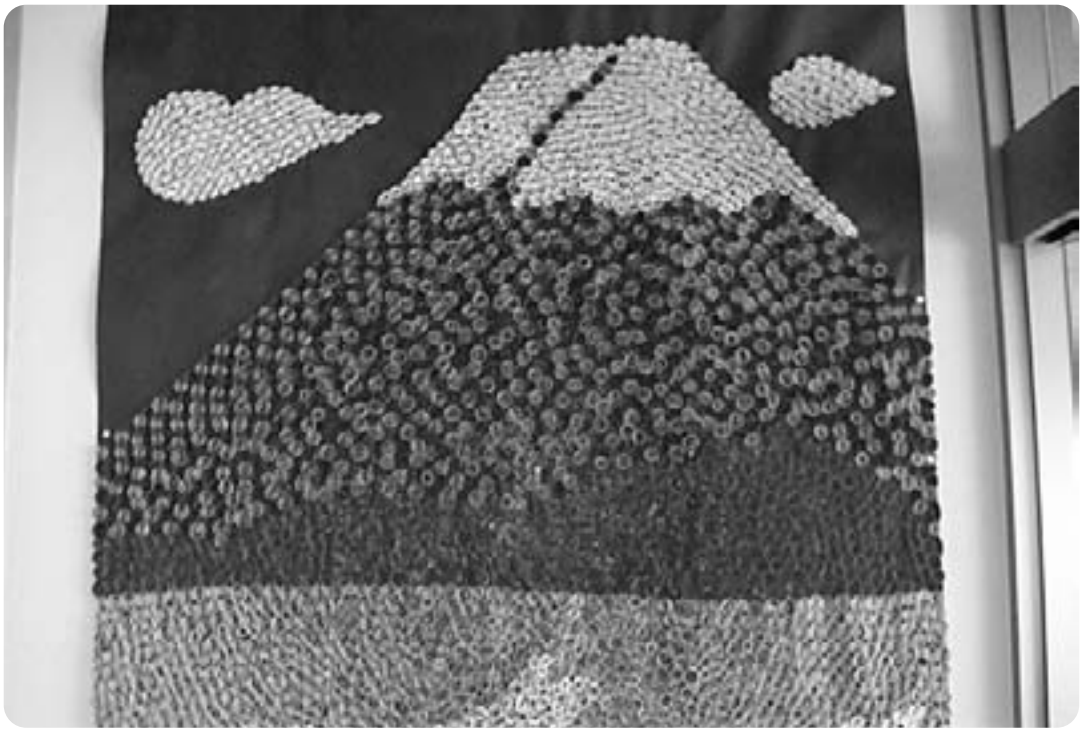
本年もよろしくお願い致します

阿南町老人クラブ連合会
会長 酒井 政勝

阿南町身体障害者福祉協会
会長 久保田 紋人

なごみ通信（和合デイサービス）

なごみにも世界遺産が？



謹んで迎春のお慶びを申し上げます。皆様お変わりなく新年を迎えられた事とご推察申し上げます。

さて、和合デイサービス「なごみ」では、午後の活動として幾年か前よりペーパークイリングでの作品作りに取り組んでいます。今までに「花火」「ひまわり」「サンタクロース」等、色々な作品が出来上がり季節ごとにデイサービスの中を賑やかせてくれています。昨年は利用者様から「大作を作りまいか」との意見を頂き、皆で考え世界遺産になった「富士山」を作る事にしました。二ケ月かけ黙々と画用紙を割りばしで巻き、材料が出来上がりました。景色は河口湖から見た富士山。大きな画用紙を貼り合わせた上に、くるくる巻いたペーパークイリングをボンドで貼っていきました。途中あまりの大きさに材料が足らなくなり又皆で画用紙をくるくる巻き、やっと三カ月かけ出来上がりました。デイサービスの玄関に展示してみると、とても爽快で雄大な「富士山」です。くちぐちに「素晴らしいなー、これで和合に居ても富士山が拝めるなぁー。」と言いながら眺められています。写真では解りづらいと思いますので是非、実物を見に「なごみ」にお越しください。

本年も和合デイサービス「なごみ」を、どうぞ宜しくお願い致します。

（深見　佳子）

サルビア通信

サックスの音色・ハンドベル・きれいな歌声でクリスマス

雪がちらつき寒くなりましたね～。あの暑かった夏が恋しいですね。

デイサービスサルビア・のどかでは毎年恒例となったクリスマス会を十二月二十三日～二十七日まで開催しました。

今年は初の試みとして一日目、飯田市の高橋さんにサックスの演奏をしていただき、二日目、三日目には利用者の皆さんが活動の一環として行っているハンドベルの演奏を発表していただきました。ハンドベルは何度も練習して、スズと太鼓で他の利用者さんの応援もあり、いつもより上手に演奏できたと満足しています。また、若葉デイのみなさんも参加し、歌声で盛り上げてくれました。四日目、五日目は年末ということで「第一回サルビア紅白歌合戦」を男女三

組の出演者で行いました。利用者さんも出演し自慢ののどを披露していただき、また勝負がかかっているので、職員も負けじと衣装やパフォーマンスで力の入ったステージとなり、勝敗つけがたく利用者の皆さんもどちらに点数を入れていいか迷っていました。サンタクロースも登場し職員手作りのクリスマスプレゼントがあり、いい年末になったのではないでしょうか。

昨年はデイサービスサルビア・のどかを御利用いただいた皆さん、家族の方、地域の皆さん本当にありがとうございました。今年も利用者の皆さんが元気になれるように職員一同がんばっていきますので、よろしくお願いします。

（花井　英子）

グループホーム

まめだより

昔とった杵柄

グループホームまめだかなでは時間がゆっくりと、その方々の状況に応じて流れていきます。認知症の症状はまちまちですが、いつもそこには新しい時間がご利用者様たちの前に訪れます。

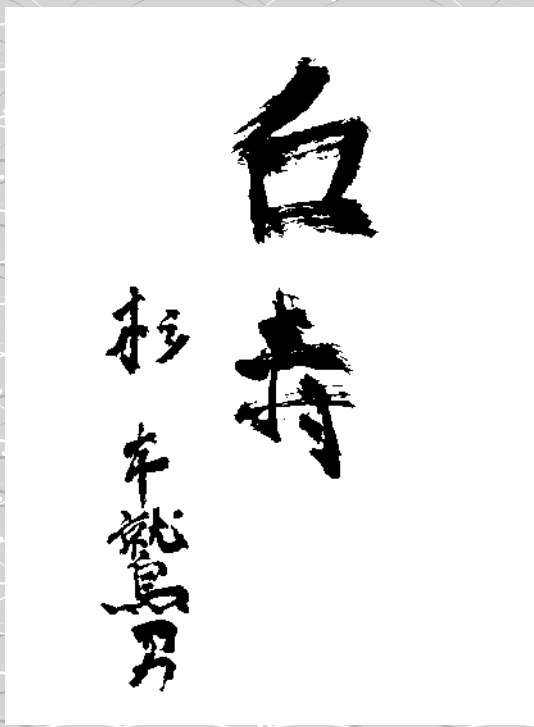
新しい時間ではありますが、八十年、九十年と生活をしてきた皆さんは、その蓄積された経験や想い出や人格がプラスの方向にまわりだすとき、以前の普通の生活のヒトコマがすらすらと体から現れてきます。

そんな生活のヒトコマとして「まな板で手早く野菜をさばいてくれる」情景を今回は紹介いたしました。過日行いました保育園の皆様、ご家族の皆様との楽しいひとときの様子も、また報告したいと思います。

（勝又　修）

ある日の昼食準備で

サルビア書道展より



99歳の利用者さんの作品

社協会費納入の御礼

昨年11月1日よりお願いしておりました社協会費は、総額617,200円（平成25年12月23日現在）となりました。納入にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

浄財の御礼

・故 塩澤誠様（早稲田）のご家族より浄財をいただきました。

・故 仲間籌志様（御供）のご家族より浄財をいただきました。

有効に活用させていただきます。有難うございました。

おもちゃ図書館より《お知らせ》

2月初旬ごろ、節分おたのしみ会を企画中です！ 詳し内容は、後日お知らせします。

予告 阿南町ボランティア大会2014 開催

２月の下旬ごろ、ボランティア大会を開催します。 詳しい内容は、後日配布のチラシをご覧下さい!

編集後記

師走、忙しいよぉと嘆きながら働いている自分。そんな時思い出したのが以前お寺で聴いた和尚さんの講話「手は何で２つあるの？」「働くため」「働くとは？」和尚さんが子供の頃祖父の和尚さんとの問答です。修行を積んでいくうちに答えが「働くとは？」「傍（はた）を楽にすること」そうか２つの手、１つは自分のため、もう１つは傍（そば）の人のためにあるんだと気づいた、との徳の高いお話。そんなふうに思えると良いけど、僕はやはり「猫の手も借りたい」と思ってしまうなぁ。

（近藤　幹雄）